

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

注目・言語化を促進させるための ICT 活用 「編集動画を利用した校外学習の安全指導・事前学習」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部 2 年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・平仮名や片仮名、簡単な漢字などの読み書きができ、言葉でのやり取りができる生徒や、言葉を発することは難しいが、言葉での指示を聞いて行動することができる生徒たちの学級。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生活単元学習
	単元(題材)名	単元名「郵便局と駅に行こう」
	単元(題材)の概要	・駅や郵便局を見学する活動を行う単元である。事前学習では、「校外学習の概要が分かる。」「目的地までの経路が分かる。」「経路で安全に気を付ける必要がある場所を知ることができる。」という目的でタブレット端末を活用した。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>タブレット端末、TVモニター</p>  <p>わたしのなまえはミスター</p> <p>信号をよく見てわたりましょう</p>
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○事前学習で目的地までの経路について、タブレット端末やテレビ画面で見ることで、楽しみながら確認することができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味関心をもっている動画共有サイトを参考に、目的地までの経路を撮影・編集した。 ・見てほしいところで一時停止し、対話的な活動を取り入れることで、注意すべきことを確認できるようにした。 ・一連の移動を動画収録しておくことで、信号機のある横断歩道や車の出入りの多い T 字路の所などの安全に気を付けなければならない場所を自由に提示できるようにした。 ・生徒それぞれのタブレット端末にも作成した動画を保存し、休み時間等に視聴して個人でも学べるようにした。
	材料・作成方法等	<p>スマートフォン (iPhone14 pro)、タブレット端末 (iPad pro)</p> <p>三脚 (定点撮影時)、ジンバル (撮影時に手振れを防ぐために使用)</p> <p>iPhone アプリ (カメラ) iPad アプリ (Luma Fusion、Cup Cut)</p>

子どもの変容や評価

- 経路の中で特に安全を確認したい場所を提示した際には、「車にぶつからないように」「青、わたって良い」などの発言があり、意欲的に学習する様子が見られた。
- 生徒達は、授業以外の時間にも自主的に動画を視聴する様子が見られ、登場する教師の台詞を復唱したり、真似をして教師に伝えたりしながら校外学習の概要、目的地の名称や経路を楽しみながら覚えることができた。
- 校外学習の当日に生徒達は、信号機の色をよく見て判断して横断歩道を渡ったり、車に気を付けなければならない場所では、立ち止まって左右を確認したりすることができた。また、経路の中で分かれ道がある際には、「次はどちらに行きますか。」と生徒たちに問いかけると、「あっちです。」と指差しをしながら正しい経路の方向を指し示すことができた。事前学習で学んだことをしっかりと実践したり、表現できていると感じた。
- 対象とした学級の生徒達は、学習時に画像のみの教材を用いて行うよりも動画教材を合わせて使用することで、より意欲的に学習に取り組み、内容の定着させることができた。改めて動画教材の有効性を感じる実践となった。

(令和5年度)